



### 湯本の探湯事業

#### 愈々續行に決す

#### 湧位が下れば断層面まで

出で湯の復活に地質専門家の  
想測を頼り探湯坑掘鑿費十  
万餘圓を投じて推定湧源點に  
達し毎分十五立方の熱湯湧  
出を得たるものゝ各温泉旅館  
に對する所期の配湯に間に合  
はず進退の問題難にかゝつた  
石城郡湯本町では其の後慎重  
なる協議を重ねた結果更に進  
坑を決定して同事業遂行上の關  
係から元入山鑛務所長吉本  
眞一氏の出願する同町地下石  
炭の探鑿には當然反對するこ  
とになつたが探湯坑の續行  
には延長費約四萬圓を要する  
ものとされるだけに相當の確  
信あるものゝ如く繼續される  
今回の延長で見込み通りの湧  
源(毎分時二十五立方)に達し  
其の後周圍する炭礦の探鑿で  
再び湧位が低下することがあ  
つたとしても又更にこれを追  
つたにして同地點より遠からぬ斷層  
面に至れば豫定の所量を押へ  
得るものと語られて居り右の  
延長鑿鑿は現在の切詰めより  
東寄りに進められる模様であ  
つて地下一千尺の湯湧に成功  
すれば湯の町として永久性の  
獲得かと云はれてゐる

### 護國の柱

木村子之松上等兵、石城

日刊 九月二十日  
日刊 九月二十日  
日刊 九月二十日  
日刊 九月二十日  
日刊 九月二十日  
日刊 九月二十日  
日刊 九月二十日  
日刊 九月二十日  
日刊 九月二十日  
日刊 九月二十日

### 皮四坪の鯨一頭に

#### 五十銭の國庫獎勵

#### 底曳と揚繰の休漁にも獎勵

皮革代用品として採用されて  
ある鯨の漁獲は本縣の年産平  
均四十九万二千六百圓の價  
格十六萬圓に達してゐるが  
此の増産策に皮四坪(一  
坪は一尺)以上の鯨一頭の漁  
獲に對し檢査官の確認  
で五十銭の國庫獎勵金を支拂  
ふこととなり此の通牒に接し  
て獎勵されてゐる

### 戦地 傷病兵の診療に

#### 微力ながら健闘

拜啓、度々御慰問御感謝の  
書状を賜はり御芳情辱く存  
じ只々感謝の花を、仰せの  
如く聖戰一年有餘、既に中  
原を制し尙ほ増々有利に展  
開しつゝ在り誠に同慶の至  
り存じ候、當病院は漢口  
の傷兵の治療に當り目下〇  
〇〇名を收容し居る状態  
にて之れ等傷病兵の診療に  
従事致し居りますれば自然  
精神の緊張を覺ゆる次第に

### 常識講座

ブーア・ホワイトは低  
級白人の意だ、ブーア  
は野人、田舎者または  
貧乏な見かけのつたつた  
個の下手のつたつたつた  
で此のブーア・ホワイト  
に低級白人はハバナ群  
島等に居る白人を云ふ

### 北安は積雪一尺

#### 平市仲町出身

其の後昔々様にも御變りな  
く統後の爲め御盡力のこと  
に存じ上げ候、小兵儀も相  
變らず元氣にて匪賊討伐に  
參加いたし居り候間御安心  
下され度候、度々御慰問  
品、御慰問狀は何より嬉し  
く厚く御禮申上げ候、  
當地北安は雪は約一尺寒さ  
は零下二十四、五度、冬た  
げなほの感深く感じられ申  
居り候、皆々様にも御休御  
大切に遊ばれ候やう御願ひ  
申上候、先づは取敢へず亂  
筆にて御禮まで申上げ候、

### 軍後へ三十圓

#### 只野忠康氏

平市大町の只野忠康氏は大相  
模興行で得た金から三十圓を  
今七日市の軍事務援會へ寄附  
した

### 列車に雪景色

平野年六時五十六分同七  
時二分發今八日の青森發上野  
行三〇二急行列車は青森方部  
の急行列車を想像される白雪を  
列車の扉上に乗せ平野地方とし  
ては珍らしい雪の風景を見せ  
たるもの

### 防空訓練の成績

#### 本田平署長の講評

自動車の前照燈の照度計を  
以て測定するものが正しいの  
でありますが其の光度に稍  
近い程度する爲めに乙地區  
域に於ては黒の「新モス」一  
枚を以て被覆するやう指示  
しましたら感極めて陳なる材  
料を使用したり或は深夜に  
なりまして覆を脱して運行  
したものがあつたのは遺憾

### 郷土(農産)展

#### 明九日賞品授與

平第四小學校の恒例郷土展覧  
會は昨日(九日)開演に  
三日間同校講堂に於て開演小  
學生徒の耕作せるもの三七二  
點、青年學校生徒の同六九點  
青年團の同二四點、農會關  
係一三三點計六百八十四點の  
出品から一等一五、二等四三  
三等一〇三を撰み九月九日午後  
一時發射式を挙行、尙ほ  
豫定で審査終了入賞者を決し  
ておた地肥品評その他第四校  
學區方部に於ける農事の各種  
催の優良者に對する賞品授與  
式を合せて挙げられるが郷土  
展の農産、青年團關係の受賞  
者は左記の如くである

### 老乞食の行倒れ

#### 小名瀨町吹松地内道脇に去

五日午後五時の眞晝七十才位  
の乞食の男が倒死してゐるの  
を同地小松き(五七)が発見届  
出により檢視の結果空腹に心  
臟病を起しての死亡と判つた  
が同人は其の前日きち宅で飯  
を恵まれれば實際の上話に據の  
目立職であつたことだけは語  
つた身元不明で町の假埋葬と  
なる

### 遺家族に歳暮

#### 石城郡植田町では今歳暮に當

り町出身勇士遺家族に對し五  
圓乃至十圓づつ總額千五百圓  
を贈り尙ほ明春は小學校講堂  
で遺家族の慰安會を催し戦地  
勇士の武運長久祈願をなすと  
なる

### 勿来の優良納税

#### 組合表彰

石城郡勿來町の優良納税者表  
彰式は今日同日青年會館に  
於て舉行す納税の五十三納税組  
合を表彰八百三十圓の獎勵  
金を交付した

代理店 魁文堂 電話三三三三  
雲州神國印ソロバン  
優勝印高級ソロバン  
ウエル 萬年筆  
ライトインキ  
ムツリニペン  
玉泉堂の書道筆  
古梅園の書道筆

- ▲農會關係一等白菜林三郎
- ▲梨金成雅彦 練馬團場
- ▲一等葱吉田憲英 梨
- ▲金成光雄 薄皮庄憲 白菜
- ▲鈴木政一 大根小野政一
- ▲關場益一 休菜團場長多
- ▲鶏卵吉田秀一 馬鈴薯鈴木
- ▲多次郎 三等葱吉田庄一外
- ▲二十二名
- ▲青年團關係一等白菜葉菜
- ▲新平 大根小野政一 牛蒡
- ▲戸田元吉 二等葱吉田憲英
- ▲白菜田恒好 葛明智忠作
- ▲人參小野政次 馬鈴薯葉菜
- ▲新兵衛 鶏卵木田勝造 太
- ▲根園田洋一 三等白菜葉野
- ▲一四外 二十四名

# 農業方面

## 農民の意志を 統制に映さす

帝國農會の時局策  
帝國農會では農村の努力不足と物資不足の事態は俄かに改める見込みはないのでこれが恒久的對策を確立、農業の合理化を断行しなければならぬと云ふ建前からこの程時局對策會議を開いて次のやうな大綱を決定した、

(一)農用物資必要量の確保並びに配給の合理化、物資供給に關する各種制限中農用物資に付ては農業の需情を十分考慮して緩和の途を講ずると共に右に關する各種協議會、委員會等に農業關係者を加へる、日滿支を通じ農用物資必要資源の開発に努める、政府は右に必要なる助成をなす、主要農産物に關し可及的公定價格制を採用する、配給の企業は農業生産の綜合的指導をなす團體をもつて之れに當らしめ配給機關の整備をなす、

(二)適正なる農産物價格の維持、標準價格決定に當つては一般物價農産物生産費を考慮し農業生産を萎縮せしめざる措置を講ずる、軍需品の供出價格、専賣農産物の納入價格は同種農産物の市價に比し往々下位にあるを以て供出並に納入價格が當時の市價に比し低廉なる場合は市價を考慮し適當なる範圍に於て供出並に納入價格を決定し得るの途を講ずる、

(三)農産物の生産統制、生産統制を行ふ場合にはその種類、價格、制當、數量等を考慮すると共に十分農民の意向を反映せしむ(元)

産統制を行ふ場合にはその種類、價格、制當、數量等を考慮すると共に十分農民の意向を反映せしむ(元)

皇軍戰勝ニ冬品會の第一線に立つ

ツルヤ 電一四〇  
漸新型 豐富陳列

子供帽子 中折帽子

デリーサービズ

日	月	火	水	木	金	土	日
ラン	カ	チ	フ	メ	コ	テ	ラン
テ	ツ	ヤ	フ	メ	コ	テ	ラン
キ	ツ	ヤ	フ	メ	コ	テ	ラン
キ	ツ	ヤ	フ	メ	コ	テ	ラン
キ	ツ	ヤ	フ	メ	コ	テ	ラン

特にマルトモのランチは...

RESTAURANT MARUTOMO  
堂食モトルマ

債券 公債 兩替 金融

多田井質店  
平市大工町 電話五九一

募集いたします

年齢十五才以上十八才まで  
多少共経験ある者には年齢を問はず  
給金を別に定めます

初任級最低日給金五十錢以上  
(年二回の昇給があります)

希望者には寄宿舎の設備あり  
一人に付一人の技術者で責任指導す

退職手当その他福利設備あり

丸はん家具製作所  
平市新田前 電話一八二番

女店員二名募集す  
平市三丁目 電話五九番  
丸はん商店

内科、小兒科  
外科、花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科

平市田町 電話五二三番

高久病院  
院長 醫學士 高久忠

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三三 用命は 三三三

平市 田町

藤沼醫院  
平市紺屋町 電五〇七

正確 一体温計  
なる 寒暖計(種各)  
計量器指定販賣  
平市五丁目角  
山野邊藥局

年未年始の贈答品に  
兵隊さんの慰問品に

郷土色 たひら羊羹  
豊かな

如何なる長期間にも、如何なる高温にも、絶対に變質せず、遠い戦地の慰問品として最適(東京衛生試験所證明済)

平市銀座通り 松月堂  
電話二〇六番

平驛前 佐原屋  
平驛 構内賣店  
平驛 ホーム立賣  
東京丸ビル二階  
福島縣物産陳列所

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士  
婦人科 五十嵐雄二

平市新川町「電話三六九番」

レストラン

サロシ

喫茶、茶、酒場を兼ねた。

町田平 二五三番

高野屋

良品廉價

平市大工町

平田町(三丁目裏川岸通)

明雲堂眼科醫院  
電話六六九番

入院應需(自炊の便あり)